

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



諸橋 愛

(新潟/79期)

(地元記念)3連覇は狙っていくし、それでどこまで走れるか。違反訓練のあと、地元記念まで2週間くらいあるから、もうちょっと上乘せできると思う。あとはそれがかみ合えば。地元だから2割増し。いや、気持ちを入れて3割増しくらいには(笑)。

藤原 憲征

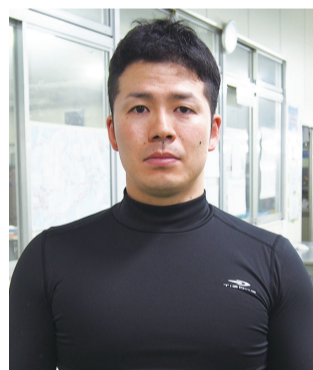
(新潟/85期)

(6月)平塚の落車でろっ骨が痛いけど、練習ははじめてます。去年の10月に色々変えて良くなったから呼ばれて楽しみだったけど、何とか間に合わせたい。30代最後のレースを弥彦で走らせてもらえるんでね。痛みがあらうと悔いのないよう走りたい。



佐々木 雄一(福島/83期)

ここのところ差し脚の伸びが目につく。6月取手記念で1③⑦①着と2勝を挙げると、同月青森では③①①着とVをゲットしている。決勝は目標が不発に終わると最終バックから車を外に持ち出し鋭く伸びた。



小森 貴大(福井/111期)

3月に9連勝を達成しS級昇格。S級での経験は浅いが、F1戦では5月奈良2③②着など十分に通用している。G3初参戦の4月伊東は4日間逃げて1⑤⑤②着。G3開催2戦目の今回はどこまでやれるか注目。



小林 泰正(群馬/113期)

全国各地で大暴れしている第113期生の在校成績第2位。強豪ぞろいのレインボーA級ファイナルで優勝してステージを上げた。初戦の7月宇都宮は2⑨①着と2連対。初めてのG3開催参戦で台風の目と化すか。

S級ブロックセブン

7/28(最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

小原唯志を先導役に、佐藤和也、近藤保で東の3人が結束ならライン的には強力。番手有力な佐藤を本命視した。佐藤はここ1カ月レースを走っていない不安はあるが、その前は6月小松島で坂本貴の準Vなど着をまとめていた。小原は近況一息も、3車なら組み立てやすい。藤井栄二と瀬戸栄作の叩き合いを誘ってのまくりが理想か。伸びがいい近藤も含めて上位独占も。
点数最上位の青井賢治が黙ってない。ほぼ毎場所2回ずつ確定板入りとデキの良さは疑う余地がない。売り出し中の瀬戸を好操縦しての抜け出しは十分。
積極性際立つ藤井からも目が離せない。勢いはメンパーが一番で、猪俣康一を従えて末良く粘り込むケースには要注意だ。

東の連係重視で
佐藤和也



佐藤 和也